

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	平成 29 年度事業計画、予算及び資金計画の申請・認可	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月22日 経済産業大臣に申請</li> <li>・3月31日 認可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回運営委員会(3/22)の審議結果を受け、同日、経済産業大臣に対して、平成29年度事業計画、予算及び資金計画の認可について申請。</li> <li>・同月31日、経済産業大臣が認可。</li> </ul>
2	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>&lt;日本原燃における再処理事業等の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月10日 第18回返還ガラス固化体の貯蔵施設への収納完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第18回返還ガラス固化体（英国分、計132本）の全数について貯蔵施設への収納が完了。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月15日 原子炉等規制法に基づく報告徴収命令を受けて提出した日本原燃の報告書について原子力規制委員会で審議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本原燃の報告書について「問題点が概ね洗い出され、是正措置計画が示されるとともに、進捗等をチェックする仕組みが示された」として了承された。また、社長の強いリーダーシップの発揮が求められるとともに、是正措置が適切に実施され改善に結びついていることを保安検査等で厳格に確認するとされた。</li> <li>・機構としては、日本原燃の是正処置の実施状況について、現地で確認を行うとともに、安全・品質改革に関する委員会の活動状況及び保安検査の結果等を同社から聞き取ることを通して、継続的に確認する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月20日 仏国アレバ社が設立した新持株会社への出資に関する契約に署名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本原燃は、フランス総合原子力メーカーであるアレバが設立した新持株会社（ニュー・アレバ・ホールディング）への出資に関する契約に署名。新持株会社に対し、株式の5%に相当する2億5,000万ユーロ（約300億円：120円/ユーロ）を出資する予定。同社によると、今回の出資は、再処理・MOX加工にかかわる優れた技術力及び長年の安全・安定操業により培われたノウハウを有しているアレバとの協力関係を一層強化でき、再処理施設及びMOX加工施設のしゅん工に向けた準備、安全・安定運転の実現に繋がるものとのこと。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月21日、24日 新規制基準適合性に係る審査会合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本原燃より、再処理施設、MOX加工施設の重大事故等への対処のまとめ及び品質保証体制等を含む技術的能力について説明し、審査項目の一通りの説明が終了したと整理された。なお、補正申請書の提出時期、しゅん工までのスケジュールについて確認がなされ、同社は、両施設とも4月中旬の申請を目指し、現在計画しているしゅん工時期は変更しないと回答した。</li> <li>・機構としては、しゅん工に向けたスケジュールや取組みについて、工程管理の一環として、都度日本原燃に確認する。</li> </ul>